

# 西山古墳（にしやまこふん）



やぶづかおんせんいりぐちきたがわ はちおうじきゆうりよう なんせいほうこう の しきゆうせんたんぶ  
藪塚温泉入口北側で、八王子丘陵から南西方向に伸びる支丘先端部  
ひようこう ふぎん りつち ぜんぼうこうえんぶん  
の標高110m付近に立地する前方後円墳です。

ぜんぼうぶ ひがし む ぜんちよう こうえんぶ けい どうたか ぜんぼうぶ  
前方部を東に向け、全長34m、後円部径1.8m、同高さ4m、前方部  
はば たか みなみ せきしつ かいこう しょうざい  
の幅2.0m、高さは2mです。南に石室が開口しており、使用材の  
だいぶぶん ぎようかいがん わりいし てんじようせき いちぶ きよだい へんせいがん しょう  
大部分は凝灰岩の割り石で、天井石の一部に巨大な変成岩を使用して  
います。

せきしつ おお おくゆ まくち たか せんご  
石室の大きさは、奥行き5.8m、間口1.9m、高さは1.5m前後  
です。せきしつほうかいぼうしこうじ さい せんどうまえ ちようさ はにわ せんざい  
石室崩壊防止工事の際に羨道前を調査したところ、埴輪の存在  
かくにん ふきせき み  
が確認されましたが、葺き石は見つかっていません。

せきしつ せんどうぶぶん ほうらく きけん ほきよう  
なお、石室の羨道部分は崩落の危険があるため、コンクリートで補強  
してあります。

こふん ばしよ せいほう すいでんめん たか  
この古墳のある場所は、西方の水田面からの高さは1.7mにあり、  
せいほう へいたんち みお いち しゆうへん こふんぐん  
西方の平坦地を見下ろす位置にあることから、周辺にある古墳群の  
しゆふんてき せいかく も かんが  
主墳的な性格を持つと考えられています。

こふん つく じき こふんじだいこうき せいきまつ かんが  
古墳が作られた時期は古墳時代後期（6世紀末）と考えられていま  
す。にしやまこふん けんしていしせき  
す。西山古墳は県指定史跡となっています。